

船舶事故調査報告書

平成23年12月8日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 庄 司 邦 昭
委員 石 川 敏 行

事故種類	乗揚	
発生日時	平成23年4月21日（木） 07時15分ごろ	
発生場所	和歌山県和歌山市地ノ島 ^{ちのしま} 南岸沖 地ノ島灯台から真方位245° 1,600m付近 (概位 北緯34° 17.5′ 東経135° 02.6′)	
事故調査の経過	平成23年5月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーモーターボート ^{まつかぜ} 松風、5トン未満 250-35393大阪、個人所有 8.55m (Lr) × 2.50m × 0.92m、FRP ディーゼル機関、128kW、平成8年5月	
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成5年3月4日 免許証交付日 平成19年3月5日 (平成25年3月3日まで有効)	
死傷者等	なし	
損傷	船底部に擦過傷、推進器翼曲損、舵板脱落	
事故の経過	<p>本船は、船長ほか友人2人が乗船し、船首約0.4m、船尾約0.9mの喫水で魚群探知機を付加したGPSプロッターで魚影を探しながら、約5ノットの対地速力で地ノ島南岸沖を手動操舵により東進中、地ノ島南岸に接近し、平成23年4月21日07時15分ごろ地ノ島南岸沖の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、地ノ島南東岸の海岸に移動して浸水や損傷の程度を確認していたところ、同乗者の1人が携帯電話で118番通報し、また、引き潮により船体が着底したので、自身の携帯電話で友人に救助を依頼した。</p> <p>船長は、来援した友人の船に本船の引き下ろしを依頼したが離礁できなかったことから、同乗者2人を友人に送り届けてもらうこととし、本船は、再び来援した友人の船に夕方の満ち潮を待って引き下ろされ、えい航されて出発地に戻った。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時、潮高 約153cm	
その他の事項	船長は、地ノ島南岸沖に行くのが初めてであった。	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし

	<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし 本船は、地ノ島南岸沖を東進中、船長が、魚群探知機を付加したGPSプロッターで魚影を探していたところ、地ノ島南岸に接近したことから、地ノ島南岸の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、地ノ島南岸沖を東進中、船長が、魚群探知機を付加したGPSプロッターで魚影を探していたところ、地ノ島南岸に接近したため、地ノ島南岸の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸岸付近を航行する場合は、事前に大縮尺の海図により浅所の調査を行うとともに、船位を確認しながら航行すること。 	